

北九州市立高等学校の魅力向上事業について

1 経緯

- (1) 令和3年1月 中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」
- (2) 令和3年4月21日 教育文化委員会報告
「北九州市における後期中等教育機関の今後の方針について」
→ 「普通科」を「地域社会に関する学科」に変更 など


2 新学科検討の経過

- (1) 文部科学省
「令和4年度 新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」採択
- (2) 産・官・学・民から構成される有識者会議の設置・協議（令和4年度）
「市高魅力化コンソーシアム」
「北九州市立高等学校の魅力向上事業にかかる運営指導委員会」
- (3) スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの検討

3 「普通科」から「未来共創科」へ

- ・「普通科」を「未来共創科」に改称し、生徒が学校内外の様々な年齢・分野・立場の方々と対話・連携・協働しながら、共に未来を創造する学びを通して、「北九州グローバル人材」として必要な資質・能力の育成を目指す。
- ・総合型選抜（大学入試）などにおいて必要な表現力・発信力の育成も目指す。

	R4年度の学科		定員
普通科	1組	普通科	80人
	2組	普通科	
専門学科	1組	情報ビジネス科	120人
	2組	情報ビジネス科	
	3組	情報ビジネス科	



	R6年度からの学科		定員
普通科	1組	未来共創科	120人
	2組	未来共創科	
	3組	未来共創科	
専門学科	1組	情報ビジネス科	80人
	2組	情報ビジネス科	

4 アンケート調査の実施

- ・北九州市立高等学校にかかる魅力向上プラン案を踏まえ、中学生及び保護者、北九州市立高等学校の生徒、大学・企業にアンケート調査を実施。今後のカリキュラムや学習内容等に生かしていく。